

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月22日

事業所名 きこえこども支援センターひなげし

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|--|----|---------------|-----|------------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 3 | 1 | | | 規則上の職員配置は適切だが、利用されるお子さんの支援度合いによっては体制を整える必要がある。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 2 | 2 | | | フルタイム職員、パート職員、それぞれが十分に参加する状況が難しい。適切な方法を検討していきたい。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | | | 活動内容に関して、保護者の意見を踏まえて、活動内容の見直しを行った。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 3 | 1 | | | 自己評価の結果は、保護者に配布している。また事業所内で掲示している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 2 | 2 | | 現在は行われていない。今後の検討課題と思われる。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 1 | 3 | | | パート職員への研修機会があまりなく、今後機会を持っていきたい。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 3 | | 1 | | 事業所内で統一したものを使用している。今後他の形式で適切なものがあれば検討していきたい。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 3 | 1 | | 活動案を基に、スタッフからの意見を聞き作成を行っている。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 3 | 1 | | 年度末に活動プログラムが固定化しないよう見直しを行っている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 3 | | 1 | 個別のケースにより課題を細かくしており、それぞれのお子さんに合ったタイミングで設定しているため、平日、休日、長期休暇とは大きく分けていない。しかし、今後必要があれば設定していきたい。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 2 | 2 | | 基本的には、集団活動を活動プログラムとしており、この時間以外は個別で対応している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 2 | 2 | | スタッフが全員そろっていない時もあるが、その場合は個別に連絡調整を行っている。また、その日の活動内容などをスタッフが確認できるように利用表を設置している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している | 3 | 1 | | 支援で気になる所はその都度確認を行い、支援終了後には振り返り、気づいた点については記録し、その後も様子を見ていくようにしている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 3 | 1 | | 日々の支援に関して気づいた点等を記録し、気になるところがあればその都度話し合いを設けている。また、スタッフ会議で支援の見直しなど、検討している。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 1 | 1 | 1 | 職員の周知を図りたい。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 4 | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 4 | | | 学校の行事予定や下校時刻等の確認は事前に連絡をいただいている。また日々の送迎時の引継ぎに合わせて、2ヶ月に1回、学校との連携会議を行い、情報を共有している。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | 3 | 1 | 医療的ケアの必要な方の受け入れは現状での支援体制がとれないため、保護者の方に待機していただいている。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 1 | 3 | | 児童発達支援から放課後等デイの情報は事業所内で共有されている。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 1 | 3 | | 放課後等デイサービスで得た情報は障害福祉サービス事業所へ引き継がれるようご家族の同意の上、情報を提供している。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | 2 | 2 | 現在は連携等は行っていない。今後そのような機会を持っていきたい。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 1 | 3 | 活動で公園に行った際に、地域の子どもと少し話すことはあったが、今年度は感染症の対応から交流はしていない。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | 1 | 3 | 今後機会があれば検討していきたい。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | | | 日々の連絡帳のやりとりや引継ぎ等の際に子どもの様子等の共通理解を図っている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | 2 | 2 | 難聴児の事業所でもあることから、手話を使ったやりとりを行っている。こちらから特別な支援をすることまでは実施していないが、事業所でやりとりしている手話を保護者にお伝えしている。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4 | | | 必要となる費用については契約時に説明させていただいている。また次月の予約表及び活動カレンダーと共に毎月お知らせをしている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 4 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 3 | 1 | 父母会は開催していないが、交流会等で保護者同士交流できる場を提供している。今年度は感染症の対応により、交流会等は実施できなかった。今後新たな交流の仕方を検討していきたい。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 3 | 1 | | 苦情窓口を置き、迅速に対応できるように体制を取っている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | | | 毎月の活動報告を内容とするお便りを作成、配布している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 4 | | | 個人情報については本部事務所にて保管している。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|--|---|
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 4 | | | | 今年度は感染症の対応により、交流会は実施されなかったが、また新たな交流の仕方を検討していく必要がある。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 2 | 2 | | | 感染症の対応において、検温や体調の確認を毎日行っている。またその他のところで、職員や保護者に伝えているが、保護者の方までの周知は徹底されていないところがあるため、今後努めていきたい。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | | 2 | 2 | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 2 | 2 | | | 拠点事業所にて実施。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 1 | 2 | 1 | | 現状では対象となる方はいらっしゃらないが、今後対象のケースがあれば適切な対応がとれるようにしていきたい。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 2 | 2 | | | 現時点では、食物アレルギーの方の利用はないが、今後想定されるため、ご家族に相談していきたい。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 2 | | 2 | | ヒヤリハットは随時実施しているが、事例集の作成までは行っていない。 |